

平成22年1月吉日

NPO法人マナーキッズ®プロジェクト

理事長 田中日出男

「マナーキッズ・ウイル・プロジェクト」創設の件

子ども・若者の状況がおかしい。多くの人がそう感じるようになって、ずいぶん時間がたちます。挨拶や礼儀など人間としての基本的なマナーやルールに欠ける。私的空間と公的空間のけじめ感覚を持ち合わせない。傷つくのが怖いから他人と深く交わろうとしない。学びを含めて何事にも意欲がわかない。その上、体力や運動能力の面でもひ弱になった。そんな子どもが増えつつあることを様々なデータは示しています。

NPO法人マナーキッズプロジェクトは、このような子ども・若者状況の是正に向けて、その一助になることを目標にしており、スポーツ及び文化活動に親しみながら、日本の伝統的な礼法を体験し、＜体・徳・知＞バランスのよい子どもを育てます。

プログラムは、子どもの体力・運動能力の低下に歯止めをかける＜体育＞、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップを習得させる＜徳育＞、運動で知性を育む＜知育＞を考慮して組まれており、既に実施した全国各地の幼稚園・小学校から高い評価を得ています。

今般、故宮城黎子様より財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトに対する寄附金を活用して「宮城黎子マナーキッズテニス・リマインドボール」を作成し、マナーキッズテニス教室に参加した子ども達に、学んだマナーの習慣化のために、マナーキッズリマインドボールを配布し、寄付を募る活動がスタートしました。

「宮城黎子マナーキッズテニス・リマインドボール」が作成されたのを契機に、「マナーキッズ・ウイル・プロジェクト」をスタートさせます。

宮城黎子様のウイル（思い）を受けづく方々が多分野から出ることを期待して、マナーキッズプロジェクトの趣旨にご賛同して頂ける方々の思い「マナーキッズプロジェクトに寄付する」という意思をメッセージにして後世に伝えます。

「マナーキッズ・ウイル・プロジェクト」創設の経緯・目的、実施内容は下記の通りです。

記

- 1 企画名称：マナーキッズ・ウイル・プロジェクト
- 2 経緯・目的：1956～1963年全日本テニス選手権シングルス8連覇という偉業を成し遂げられました宮城黎子様は平成20年6月、86歳でお亡くなりになりました。生前、マナーキッズテニスプロジェクトの趣旨にご賛同頂き、指導面、資金面、広報面で大変ご支援頂きました。遺言により、財団法

人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトに多額のご寄付を頂戴いたしました。

宮城黎子様より頂戴しました寄附金を活用し、「宮城黎子マナーキッズテニス・リマインドボール」が作成されたのを契機に「マナーキッズ・ウイール・プロジェクト」をスタートさせます。

- 3 実施内容：マナーキッズプロジェクトの趣旨にご賛同して頂ける方の思い「マナーキッズプロジェクトに寄付する」という意思をご自身が親しんでこられた記念品（テニスボール、野球ボール、サッカーボール、楽器他）にメッセージをサインと共に残します。

・寄付金は一口 10,000 円です。

・寄付金が 1,000,000 円を超える場合は、個人の氏名を冠した「〇〇〇〇マナーキッズ」基金を創設することが可能です。

- 4 実施期間：2010 年 1 月スタート

- 5 お問い合わせ：NPO 法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長：田中日出男

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 3-22-3 デルコホームズ 5 階

電話 03-3339-6535 F A X 03-6426-1580

Email:office365@mannerkids.or.jp URL <http://www.mannerkids.or.jp/>

Q & A

Q 1 NPO法人マナーキッズプロジェクトについて

A 1 財団法人日本テニス協会では、2005年4月から、子どもテニスのプロモーション活動として「マナーキッズテニスプロジェクト」を全国の幼稚園・小学校において展開している。

この「マナーキッズ[®]テニスプロジェクト」は、子供達にテニスというスポーツにまず親しんでもらい、その中から世界的な選手の誕生も期待するとともに、専門家による挨拶、礼儀作法の基本的マナーの習得、スポーツマンシップの体得、文武両道で世界に通用する背骨ある人材育成も視野に入れている。また、年々進む子供の体力・運動能力の低下に歯止めをかけるとともに、運動で知性を育むことをも念頭に置いた「体育」「德育」「知育」三位一体の特色ある「キッズテニス教室」である。

各地の小学校などの反応は極めてよく、「挨拶する子が増えた」「子どもをプラス方向に変える力を持っている」「いじめを減らす効果が期待できそう」といった趣旨の報告が数多く寄せられている。以上のことから、テニスに限らずスポーツの種目を超え、そしてスポーツ以外の子ども活動団体などとも連携・協力しながら広く活動を展開していきたいとして、平成19年6月にNPO法人マナーキッズプロジェクトを設立した。

財団法人日本テニス協会マナーキッズテニス教室は、今までに43都道府県において、407回、30,059人の幼稚園園児・小学生児童が参加した。NPO法人マナーキッズプロジェクト発足後は、体育と道徳（食事のマナー他）の融合授業の開催を支援しており、20都道府県、84小学校で体育・道徳関連授業に採用されている。また、野球、サッカー、ミニバスケット、ラグビー、陸上、スナッグゴルフ、柔道、剣道、相撲、空手、音楽、中学校・行政礼法指導等領域が広がっており、既に10,779人が参加した。

Q 2 「マナーキッズ・ウイル・プロジェクト」創設の目的について

A 2 NPO法人マナーキッズプロジェクトの財政規模は、約800万円程度であるが、経済情勢の深刻化により、企業よりの協賛金が減少している。

かたや、開催要請は増加しており、財政基盤を確立することが急務である。本プロジェクトの発足により、寄付・募金が集まることを期待している。

Q 3 マナーキッズ・ウイル・プロジェクトの募集方法について

A 3 テニス界だけに限らず、広く各分野の方々にマナーキッズプロジェクトご支援の呼びかけをしたいと考えている。また、遺言信託を扱う信託銀行等のご協力も得たいと考えている。

Q 4 寄付金に対する免税措置は可能か。

A 4 NPO法人マナーキッズプロジェクトは、平成21年11月10日に、国税庁に対し、認定NPOの申請を行った。認定NPOが認証されれば免税措置が可能になる。

以上